

中宮中だより

No. 8

平成30年(2018年)10月30日
枚方市立中宮中学校
校長 鶴島 茂樹

＜新生徒会、スタート＞

積み上げてきた大切なモノをしっかりと引き継いで、
さらなる伝統を築こう！！

＜新生徒会長 今道 鈴音 さんより＞

この度、生徒会長に選出されました今道鈴音です。

私は去年1年間、生徒会執行委員として活動したくさんのことを学びました。行事の裏では、生徒会ががんばっていること・・・仲間と協力して物事をやりとげることのすばらしさ・・・活動を通してよりよい学校にしていくために、生徒会は必要な存在だということを実感しました。

去年は1年生だったので少し控えめなところもありましたが、次は、私たち2年生が中心になるときです。これまでの経験を生かし、積極的に学校をよくするために取り組んでいきます。

また、体育祭や文化祭などの行事も、みんなの心に残る思い出になるように考え、盛り上げていきたいです。

生徒会本部役員全員で、よりよい中宮中学校にしていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

*新生徒会を代表して、会長さんに文章を書いてもらいました。「さあやるぞ！」という強い気持ちが伝わってきます。これは、会長さんだけでなく、新執行部全員の決意だと思います。

言うまでもなく、「学校」の主人公は執行委員だけではなく、あなたたち一人ひとりで、執行委員を選んだみなさん、みなさんには、選んだ側として、執行委員の人たちを支える責任と義務があります。選ばれた人たちは、そのみんなの思いをしっかりと受け止めて、みんなの先頭に立って行動する責任と義務があります。

みんなの力を結集して、さらによりよい中宮中学校を創り上げましょう！！

前生徒会執行委員のみなさん、これまでありがとう！！

そしてもちろんこれからも、中宮中学校を支えていってください。

＜前生徒会長 佐藤 啓翔 さんより＞

1年間、ありがとうございました。今年の目標は「中宮映え」でした。

- ・日々の清掃をしっかりと行う
- ・地域の人のじゃまにならないように、登下校時に横に広がらない
- ・身だしなみを整える
- ・心も“映え” などです。

中宮中生のみなさん、できたでしょうか。私はできたと思います。「中宮映え」という言葉を、みなさん覚えてくれています。しかし、言葉だけではありませんでした。

地域の清掃活動も予想を遥かに超える多くの生徒が、積極的に参加してくれました。それだけではありません。体育祭や文化祭の準備・片付け・進行・応援・本気、朝や廊下での挨拶。これら以外にも、係活動、委員会活動など、多くのことが、「中宮映え」につながっています。本当に感謝しています。ありがとうございました。

私が生徒会に入ったきっかけは、「生徒会の先輩、兄に憧れた」「生徒会に興味があった」・・・たしかにそうかもしれません。しかし、案外、「なんとなくやってみよう」という理由が今は一番しっくりきています。

それでも、仕事をしていくなかで、様々な人と出会ったり、体育祭の新競技、面白いものにしようと考えたり・・・など、振り返ってみると貴重な経験がたくさん積み重なっていました。だからこそ1, 2年生には、色んなことに、たとえ明確な理由がなくとも挑戦してほしいです。これらのことを含めて、新生徒会の方々にバトンタッチしたいと思います。

選挙時、「先輩に憧れた」という言葉をよく耳にしますし、私も言いました。実際、私たちは先輩に憧れ、先輩たちの下校時の声かけ、スマホのルールづくりなどを受け継ぎました。

たしかに「受け継ぐ」ということは大切です。しかし、それだけでは生徒会という役員になった以上、面白くないしもったいないです。先代の色に次世代の色を付け加え、新しい色を作り、大いに楽しんで、中宮中学校をより良いものにしてください。

今まで支えてくださった方々、共に歩んでくださった方々、本当にありがとうございました。

*こうして、積み重ねられてきたモノが、引き継がれ、その上にさらなる取り組みが積み重なり、中宮中学校の新たな伝統が創られていくことでしょう。

中宮中学校がみなさんの手でさらにすばらしい学校になることを、確信しています。